

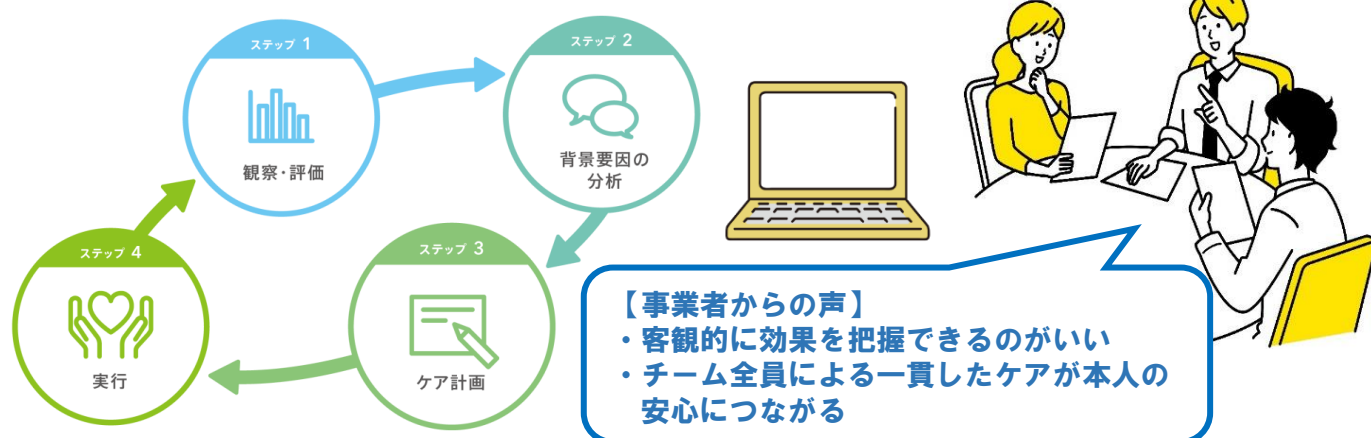
東京都福祉局からのご案内

日本版BPSDケアプログラムを導入しませんか？

日本版BPSDケアプログラムとは

- 東京都が（公財）東京都医学総合研究所と協働で開発した「日本版BPSDケアプログラム」は、興奮や妄想などの行動・心理症状（BPSD）を「ご本人のSOSサイン」と捉え、一人ひとりのニーズにあった認知症ケアを実現するケアプログラムです。
- オンラインシステムを活用しながら、ケアスタッフがチームで話し合い、4つのステップを繰り返しながら、認知症ケアの質の向上を図っていきます。

《活用イメージ》



- 東京都では平成30年から実施し、都内53区市町村968事業所（令和7年9月時点）が活用し、その効果を実感しています。
- 今年の4月からは、本ケアプログラムのeラーニング研修が、令和6年度介護報酬で新設された「認知症チームケア推進加算」の要件の一つである認知症チームケア推進研修に該当するものとして認められました。

《介護事業所における導入プロセス》

介護報酬の加算条件

都へ申込

研修受講
(eラーニング240分)

ケアプログラムの
実践

※ 実践力向上のためのフォローアップ研修（オンライン研修120分×2日間）の受講も可能

- 関心を持たれた事業者の皆様、ぜひ東京都の担当部署までお気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

東京都 福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課 認知症支援担当

☎ 03-5320-4276（直通）